

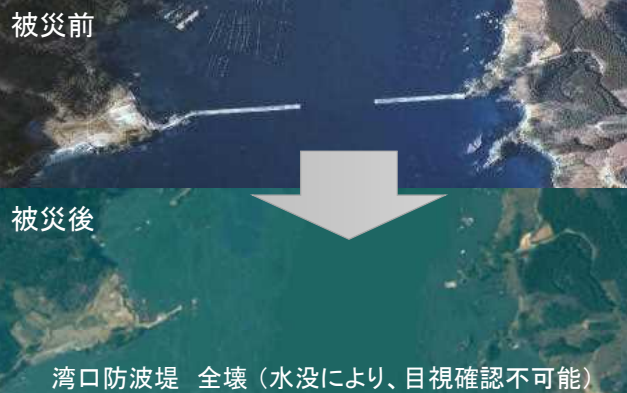
大船渡港

● 全壊した湾口防波堤の災害復旧は、平成29年3月に完了予定。

項目	進捗率	復旧・復興の状況/被害の状況
湾口防波堤	100%	据付完了 736m/全延長736m 北堤 堤体据付済244m/全延長244m 南堤 堤体据付済291m/全延長291m 開口部 据付済201m/全延長201m ※H29.2末現在

被災と復旧状況

平成29年2月撮影



逆T型ブロック

津波の流入を極力防ぐため、開口部(航路部の水面下)には潜堤を設置しています。被災前は鋼セル構造を採用していましたが、今回の復旧に当たっては、「逆T型ブロック」を設置し、その上に石材を投入する構造としました。

また、大船渡港では作業用地が不足していたため、逆T型ブロックは釜石港で製作しました。



製作状況(釜石港)



据付状況(大船渡港)

粘り強い構造

大船渡港の湾口防波堤は、被災前よりも6m高い11.3mの天端高が特徴的です。この高さは、湾口防波堤と防潮堤等の組み合わせで、最も効果的に津波を抑えられる高さとして決められました。

また防波堤基礎マウンドの港内側をかさ上げし、ブロックで被覆するなどして、ケーソンの滑動抵抗を増加させるとともに、基礎マウンドの洗掘を防止する、粘り強い構造を導入しています。

